



我が国最大の情報機関

Defense
Intelligence
Headquarters

国家を守り、
自分を磨く



防衛省情報本部

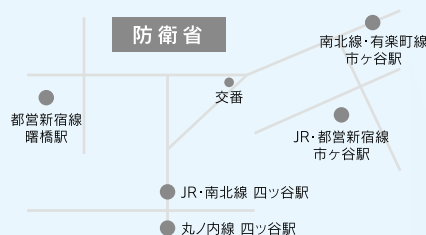
総務部 人事教育課 採用担当

〒162-8806

東京都新宿区市谷本村町5番1号

TEL 03-3268-3111 (代表) 内線31264

<https://www.mod.go.jp/dih/>



情報本部HP



情報本部採用チーム
X (旧Twitter)



情報本部採用チーム
Instagram

防衛省情報本部

職員採用パンフレット 2026

世界と つながり日本を守る

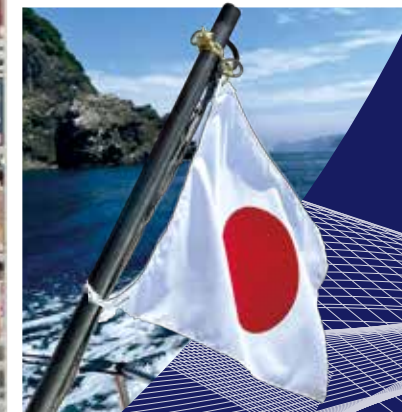
2022年12月に閣議決定された国家防衛戦略において、情報本部は「電波情報、画像情報、人的情報、公刊情報等の収集に加え、我が国の防衛における情報戦対応の中心的な役割を担う」とこととされました。

グローバルなパワーバランスの劇的な変化等、我が国を取り巻く安全保障環境は年々厳しさを増し、「情報」の重要性はますます高まっています。我々のインテリジェンスが我が国の平和と安全を保つカギとなります。

皆さんと一丸となって情報本部を発展させていきたいと思っています。

是非、情報本部の門をたたいてみてください。

情報本部長 海将 江川 宏



CONTENTS

- 01 メッセージ
- 02 目次
- 03 情報本部の概要・任務・
情報コミュニティについて
- 05 情報本部の活動
- 07 国際情勢について
- 08 情報本部の組織
- 09 各部・通信所の紹介・職員のメッセージ
 - 総務部
 - 統合情報部
 - 計画部
 - 分析部
 - 画像・地理部
 - 電波部
 - 通信所
- 15 防衛省専門職員採用試験の概要
- 17 国家公務員採用一般職試験
(大卒程度試験)の概要
- 19 国家公務員採用一般職試験
(高卒者試験)の概要
- 21 情報本部で得られる機会
～国内外留学・在外公館出向～
- 23 ある分析官(画像解析)の一日
- 24 ある分析官(語学職員)の一日
- 25 若手職員アンケート
- 26 ワークライフバランスを支える制度
- 27 Q&A 採用担当がお答えします!
- 29 処遇関係
- 30 採用情報

我が国最大の情報機関として

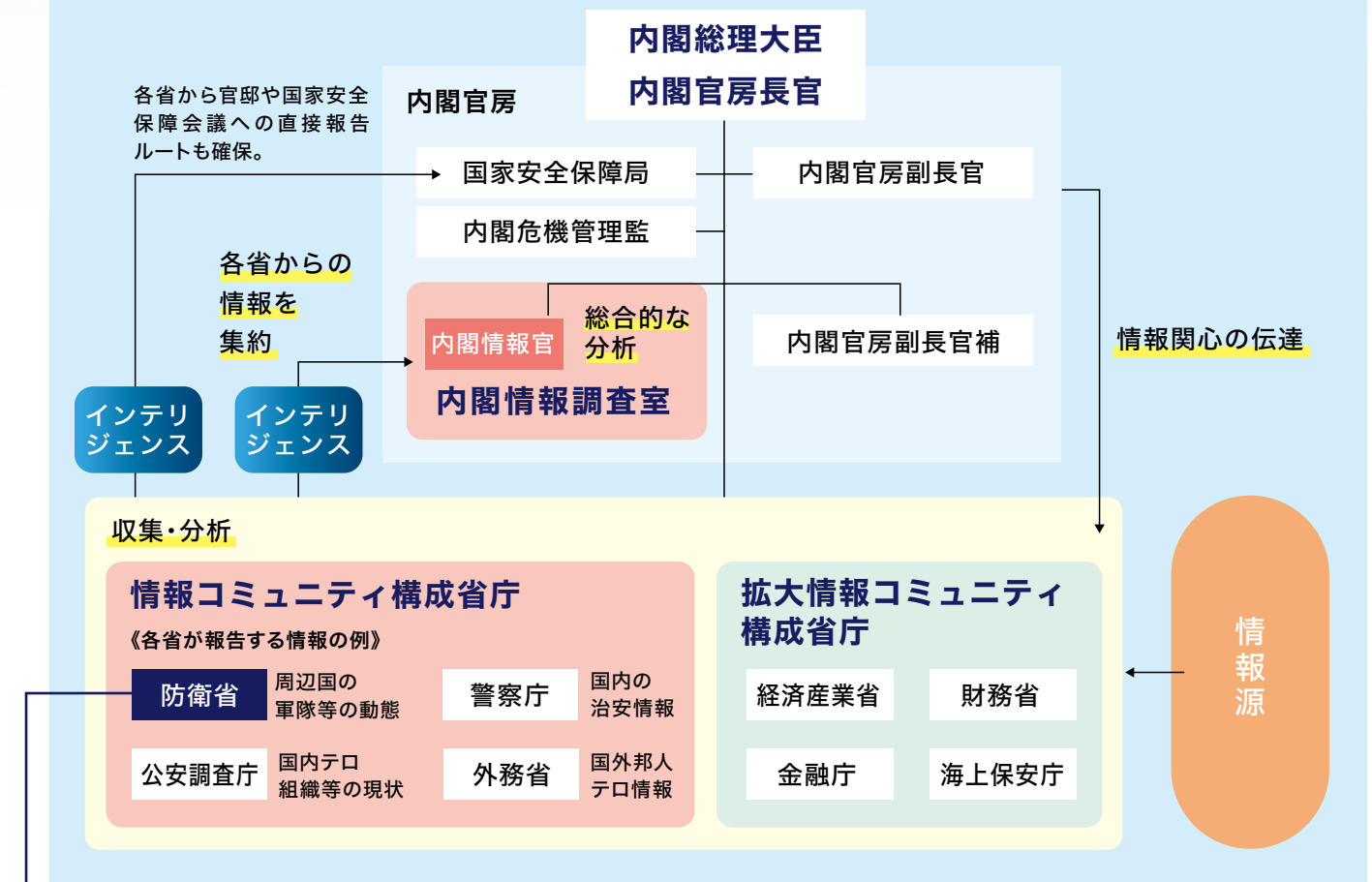
情報本部は、我が国の情報機能の重要性和冷戦後の国際情勢の変化を踏まえ、平成9年に創設された防衛省の中央情報機関です。

電波情報、画像・地理情報、公刊情報などを収集・分析するとともに、防衛省内の各機関、関係省庁、在外公館などから提供される各種情報を集約・整理し、国際軍事情勢等、我が国の安全保障に関わる動向分析を行っており、その分析結果は、内閣総理大臣や防衛大臣、防衛省の内部部局等各機関、国家安全保障局をはじめとする関係省庁や陸・海・空自衛隊の各部隊に報告、共有され、政策判断や部隊運用に役立てられています。

また、2022年12月に閣議決定された国家防衛戦略において、情報本部は従来の役割に加え、我が国の防衛における情報戦の中心的な役割を担うこととされ、情報本部への期待は益々高まっています。

日本の情報コミュニティの現状

内閣官房（総理、官房長官、事態対処・危機管理等）に対するインテリジェンスの報告は、各省からの情報を内閣情報調査室が集約し実施しています。防衛省は周辺国の軍隊等の動態などの情報の収集・分析を行い、内閣情報調査室へ報告しています。



情報本部は、政策決定者や部隊運用者に

情報（インテリジェンス）を適時適切に提供する防衛省の情報機関です。

- 平成9年に創設された我が国最大の情報機関です。
- 画像・地理情報や電波情報といった、独自の情報の収集機能を有しています。
- 公開情報を始め、各種情報を収集・集約し、国際・軍事情勢等、我が国の安全保障に関わる動向分析を行うことを任務としています。



インテリジェンスとは

あらゆる情報源から得られる情報資料（インフォメーション）を収集、処理、分析した成果物（プロダクト）であり、判断・行動するために必要な知識

情報要求

ユーザー

総理大臣（官邸・NSC）

内閣官房（国家安全保障局、内閣情報調査室等）



伝達・共有

情報関心

防衛大臣

内部部局

統合幕僚監部

陸上幕僚監部

海上幕僚監部

航空幕僚監部

ユーザー

自衛隊



情報 提供

安全保障にかかる政策判断や部隊運用に資する情報をカスタマーに提供



電波情報

我が国上空に飛来する
軍事通信電波などを収集し
解析することにより得られる情報



画像・地理情報

衛星から収集した地上の画像を
解析すること等により
得られる情報



公刊情報

新聞やインターネット等の
一般に公開されている情報



交換情報等

防衛省内の各機関、関係省庁、
友好国等から得られる情報

情報関心

伝達・共有

計画

政策や運用の意思決定者（カスタマー）
からの要望（ニーズ）に基づいて
情報業務の計画を立てる。

収集

情報成果の
作成

収集し、処理・分析をした情報を
プロダクト（成果物）として
まとめる。

処理・分析

収集された情報の解読、翻訳、
整理等を行う。
意思決定に資する情報を抽出し、
分析官の解釈を加える。

情報本部



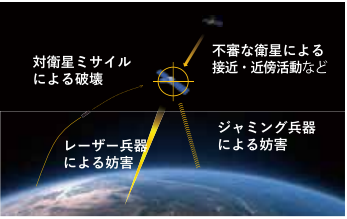
日本を含め、世界は『新しい戦い方の脅威』に直面しています



フェイクニュース等の情報戦
(例)ゼレンスキー大統領が米国議会に対して演説を行う日に、ロシアとの結びつきが疑われる団体が、ウクライナのテレビ局の放送・公式HP等をハッキングし、ゼレンスキー大統領が降伏を宣言するディープフェイク(虚偽)の動画等を掲載。SNS上でも拡散(2022年3月)



大規模なミサイル攻撃
ロシアのミサイル攻撃で破壊されたウクライナの集合住宅(2023年1月)
【ウクライナ政府Facebook】



※令和6年版防衛白書からの引用
宇宙・サイバー・電磁波の領域における攻撃、無人機による攻撃
宇宙空間の安定的利用に対する脅威

現在、情報化社会の広がりとともに、『**情報戦**』が大きな脅威としてますます懸念視されるようになっていきます

対象国内の混乱を目的とする事例

ロシアがウクライナ侵略に際し、ウクライナの士気を低下させ、ウクライナを国際社会で孤立させ、ロシアの能力を誇示するため、偽情報を流布するとともに、サイバー攻撃をしていると評価。

自国の評判を高め、対象国の評判を貶めることを目的とする事例

中国がネット上で数千もの偽アカウントのネットワークを保有し、中国の政治的利益を利する様々なナラティブを宣伝していると評価。

日本は情報戦にどう対処するか

令和4年に閣議決定された国家防衛戦略において、情報本部が情報戦に対する中心的な役割を果たすこととなりました。

政府は、国の安全保障のため、令和4年12月16日に閣議決定された国家安全保障戦略に基づき行動します

「力による一方的な現状変更」を抑止するため、相手の能力に着目しつつ、新しい戦い方に対応できる防衛力を備える必要があります。

我が国は最も激しく複雑な安全保障環境に直面しており、新たな危機の時代に突入しており、こうした厳しい安全保障環境において、情報の重要性は従来以上に高まっています。総理大臣や防衛大臣といった意思決定者に対して、国内における政策判断や、部隊運用に資するための適時適切なインテリジェンスの提供が必要不可欠とされます。



国家安全保障戦略



国家防衛戦略



防衛力整備計画(防衛費)

わが国を取り巻く安全保障が戦後最も厳しく複雑な今、情報本部への期待もますます高まっています

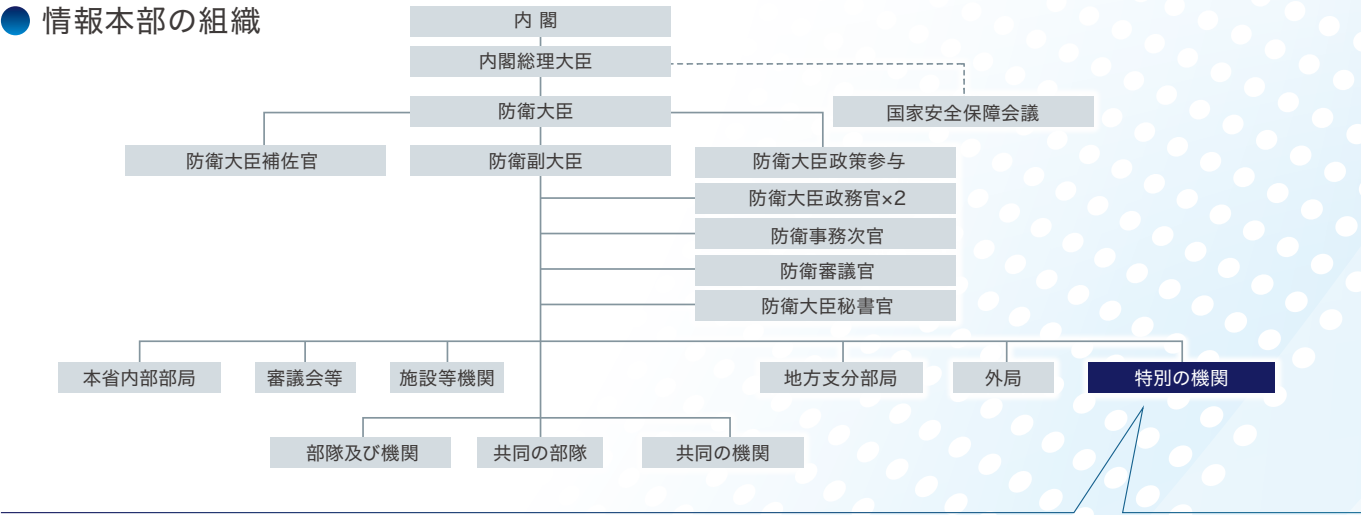
情報要求に確実に対応できる体制・態勢の構築に向けて

- 1 情報収集・分析に関する体制の強化

2 人工知能(AI)を活用した公開情報の自動収集・分析機能の強化
- 3 各国による情報発信の真偽を見極めるためのSNS情報等を自動収集する機能の整備

4 情勢見積りに関する将来予測機能の整備

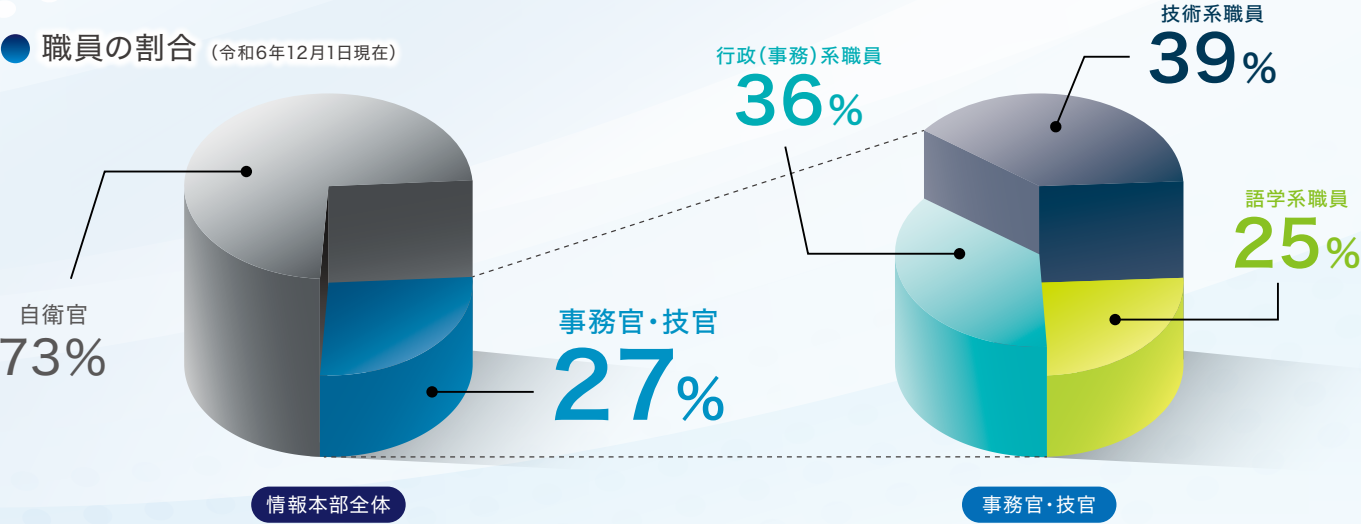
情報本部の組織



- 情報本部長、副本部長以下、各部、6カ所の通信所で組織されています。
- 各部は市ヶ谷(東京都新宿区)に所在し、各通信所は全国各地(東千歳、小舟渡、大井、美保、太刀洗、喜界島の6カ所)に配置されています。
- 情報本部は事務官、技官、陸・海・空自衛官がともに働く組織です。
- 各部等の業務の概要等について9ページ以降で詳しく説明します。



職員の割合 (令和6年12月1日現在)



情報本部の
組織運営の基盤を支える

総務部

役割・特色

情報本部の人事、給与、行政文書管理、情報公開、会計、物品の取得・管理等、総務全般に関する業務を行い、人的、物的、予算的な面から情報本部の基盤を支えている組織運営には欠かせない部署です。

行政(事務)職員

業務に携わりながら組織運営に関わる多くの知識や技能を身につけつつ、情報業務を行う各部・各通信所が安心して職務に専念できるよう、組織の屋台骨として多種多様な業務を行います。

職員メッセージ



行政(事務)系(大卒)／令和4年入省／男性

情報本部の運営そのものを広く支える

私は情報本部において契約業務に携わっています。総務部はいわゆる目立つ部署ではありませんが、一方で運営の基盤となる人事・物品・会計の全てを取り扱う組織に欠かすことのできない部署です。会計的な側面だけを見ても、運営に必要な予算の確保と確実な執行、旅費や給与の支払、物品等の調達に関する契約など様々な業務があり、どれも専門性が高いので日々学びながら業務にあたっています。

なかでも契約業務では日々の業務で使用する消耗品から、離島で実施する工事まで大小様々な案件を担い、どれも一筋縄ではいきませんが情報本部の運営の基幹部分に直接関係しているがゆえのやりがいを感じます。(ご覧いただいているこのパンフレットも、私たちの契約により作成しております。)

情報本部は陸海空の自衛官や、様々な駐屯地・基地等で経験を積んだ事務官と共に勤務する珍しい職場です。それゆえに制度や業務の流れの違いで戸惑うこともあります。逆にそれぞれの良いところを取り入れることのできる環境です。

情報本部は語学力や技術的な知識に自信が無い方でも大歓迎の職場です。パンフレットや官庁訪問、業務説明会を通じて、情報本部について少しでも知っていただきたいと思いますので、ぜひ積極的に扉を叩いてみてください。

成長の機会に
満ちた場所で

統合情報部

役割・特色

陸・海・空自衛隊の活動に必要な国際情勢を分析する情報の最前線です。

語学系職員

情報分析、各種国際会議への参加、通訳支援などに従事。高い語学力、国際関係・安全保障環境の知見・知識を存分に発揮しています。

職員メッセージ



語学系／令和5年入省／男性

多様な経験を渉外業務から

私は学生時代、2022年のロシアによるウクライナ侵攻のニュースを見て安全保障に興味を持ちました。就職活動を始める際に防衛省の採用ページから情報本部のパンフレットを読み、業務内容に惹かれて志望しました。

現在の主な業務として、外国政府機関のカウンターパートとの会議調整や来訪者の対応、資料の翻訳などの渉外業務を行っています。省内外の人達と業務調整を行う中で、日々新しい学びがあります。外国の方とも頻繁にメールや対面での調整機会が多くあり、語学を使用する頻度は高いです。軍事英語や自衛隊固有の名称など覚えることも多いですが、周りのサポートもあり業務も円滑に進められています。業務で疑問に思ったことは周囲に聞きやすく、働きやすい環境だと思います。

これまでの業務で印象的だったのが、カウンターの部長が異動される際に行った感謝状贈呈式です。統合幕僚副長と情報本部長からお渡しいただくため、参加者のスケジュール調整や当日の段取りなどは大変でしたが、無事贈呈式が終わった時は、達成感を感じることができました。

情報本部では若手でも様々な業務に携わる機会があります。自身の経験や語学力を生かしたいという方は、是非情報本部を志望されてはいかがでしょうか。

防衛省各機関・
諸外国との調整役

計画部



役割・特色

情報本部で扱う情報の収集整理に関する総合調整や事業計画立案、防衛省内外の関係部署及び諸外国関係機関との調整、通信システム運営管理、さらには装備品の研究改善の総括等、多種多様な業務を行っています。

語学系職員

入省前はもとより、入省後の各種研修や日々の自学研鑽を通じて培った高い語学力とコミュニケーション力を大に発揮し、情報本部長を始めとする情報本部高官が国外に出張する際の計画及び随行、諸外国からの訪問者受け入れに関わる調整及びアテンド等、各国関係機関との情報交流において極めて重要な役割を果たしています。

技術系職員

情報通信技術や人工知能、量子等のゲーム・チェンジャーとなる技術の動向を調査・分析するとともに、情報本部における中長期的な研究開発計画の立案を行っています。また、情報本部で導入する通信電子器材についての工事計画や設計結果の妥当性を審査する職務にも従事しています。さらに、諸外国の装備品等の能力評価に関するシミュレーションを行っています。

職員メッセージ



情報交流の観点から インテリジェンスに貢献

語学系／平成24年入省／男性

情報本部やインテリジェンスという言葉と聞くと、どこか外部との関わりがない、閉鎖的なイメージを持たれるかもしれません。実際には、外国との協力も情報業務に欠かせない重要な役割を担っていることから、情報本部高官による海外出張や外国機関の来訪も活発に行われており、私は現在、外国機関との交流を担う部署で勤務しています。

例えば、本部長の海外出張の際には、出発の数か月前から、会議発表資料や発言参考の準備、最適な移動手段の確保の他、帰国後は議事録作成を行います。特に外国との調整においては、国内での調整では予想もしないことも時折発生しますが、異文化理解の機会と前向きに捉えつつ、上司や同僚と協力しながら日々対応しています。

出張先では、防衛省・情報本部に対するカウンターパートからの期待の高さを肌で実感するとともに、安全保障に対する外国政府の認識や、高官同士の意見交換に直接触れることができ、様々な角度から国際情勢の知見を深めることができます。

交流の促進には、防衛省・情報本部の立場を理解した上で、継続的なやり取りを踏まえたカウンターパートとの信頼関係構築が欠かせませんが、こうした経験やスキルは、どの世界においても役立つものだと感じています。

様々な機会が得られる情報本部で皆さんと働ける日を心待ちにしています。



情報本部全体を 技術で支える

技術系(大卒)／平成26年入省／男性

情報本部は、我が国最大の情報機関であり、電波情報、画像情報、地理情報、公開情報を自ら収集・解析しています。私の所属する計画部は、自ら収集・解析を行うというよりも、そのためのサポートをする業務がメインになります。その中でも私は、電子通信機材の研究に携わっております。具体的には情報本部において収集・解析を行うためには、それ専用のシステムが必要になりますし、そのシステムを開発するには最新技術の研究や情報調査は欠かせません。そのために、企業訪問や展示会訪問等を行い、そこで得られた情報をどうシステムに生かすかを日々の業務の中で考えています。

特に近年は、AIの技術革新が大きく進んでいるところ、情報本部においても業務におけるAIの活用を検討しており、私は、実際にAIをシステムに反映するべく研究や調査を実施し、将来的に収集・解析のためのサポートができるようにしております。

直接、情報の収集・解析等を行うわけではありませんが、自分のスキルが我が国の安全保障に貢献していると思いながら日々業務を実施しております。技術を扱う業務は高度で難しく困難なことがあります。非常にやりがいを感じます。技術から情報業務を支えてみたいという向上心のある方と一緒に働けることを楽しみにしています。

「オールソース」をもとに
質の高いプロダクトを生み出す

分析部

役割・特色

一般に公開されている公開情報や情報本部の他部門が収集する電波情報、画像・地理情報の他、国内外の政府関係機関等から得た交換情報など、あらゆる情報源（オールソース）を活用しながら、カスタマーのニーズを踏まえた分析を行ってプロダクトを作成し、カスタマーの意思決定に資する情報を提供します。

語学系職員

語学力を生かして、諸外国の新聞や雑誌、書籍類からインターネット上の資料まで、様々な媒体から日々丁寧に情報を収集し、オールソースを活用しながら、国際関係や諸外国の軍事、安全保障問題等に関して培った知見をもとに、国外の情勢を軍事面のみならず政治的、経済的な要因も含めた様々な観点から捉えて分析し、質の高いプロダクトを作成します。

技術系職員

機械、デジタル・電気・電子系の能力を活用し、我が国に対して脅威となる軍事技術、我が国の防衛力向上の資となる先端技術、サプライチェーンに影響する民間（デュアルユース）技術等、広範な技術分野に対し、豊富な知見を蓄えた分析官として、公開情報等のあらゆる情報（オールソース）やシミュレーション等を用いた分析（並びに調査・研究）業務に従事します。

職員メッセージ



タテ・ヨコに支えられ 成長できる場所

分析部では私は、日々、国際情勢に向き合っています。分析業務では、事象に対して、「なんでだろう」と頭の中に「？」をたくさん浮かべて考えていきます。例えば、ある多国間演習について分析・評価する場合、「時期」、「場所」、「規模」、「内容」、「近隣諸国の反応」、「過去の演習との比較」など、あらゆる要素に分解、情報収集して、それらを整理しつつ組み立てていきます。点と点がつながり、ピースとピースがつながり、歴史（タテ）のラインと国際関係（ヨコ）のラインに位置付けることができると、ささやかな爽快感を感じます。評価を導き出した後は、ユーザーのニーズを念頭に、読み手に分析内容が伝わるよう、ビジュア

語学系／平成8年入省／女性

ル面にも工夫をしながらプロダクト（レポートなど）を作成していきます。作成のプロセスでは、他の部署や上司のアドバイスなど、タテ・ヨコのつながりに支えられています。こうして作成したプロダクトに対して、「参考になった」などのフィードバックをいただくと、ユーザーとのつながりも感じられ、大変励みになります。プロダクト作成に関する「？」に加え、最近では、自分の経験をどのように後輩につなげていけばいいのか頭に「？」を浮かべて、日々、試行錯誤しています。課題を前にあれこれ考えながら、まだまだ成長中です。

技術系（大卒）／平成31年入省／男性

技術系の分析業務では、主として公開情報から必要な情報を得ております。しかし公開情報のみでは必ずしも十分ではないか、意図的に改ざんされている可能性も排除できません。このため各種ツールを活用し総合的に分析を行うことで、対象兵器がどの程度の性能を有しているかその実態に迫って行きます。このプロセスこそ、技術情報に携わる者のみが味わえる醍醐味です。

情報本部での仕事は、防衛省における政策決定や部隊運用、装備品開発の土台となるインテリジェンスを作成する重要な任務です。国防の一角を担い、学生時代に積み上げてきた学問を生かせる場としておススメします。

卓越した専門性を持って
幅広い領域で活躍

画像・地理部

役割・特色

画像情報の収集・分析（IMINT）、地理情報システム（GIS）を活用したデジタル地図の作成のほか、画像情報とデジタル地図等を活用した空間分析すなわち地理空間インテリジェンス（GEOINT）を推進しています。

行政(事務)系職員

分析官として、衛星画像に写っている対象を、空間と時間を軸に軍事戦略・戦術、技術、政治、経済等のさまざまな観点から読み解いて政策立案部門等に提供するほか、海外任務に派遣される自衛隊部隊等に対してオペレーションに必要な現地の地図や地理情報を整備し提供しています。

語学系職員

国際政治等の知見や語学力を生かして、画像解析等に必要な海外情報の収集を含む分析官としての業務や、国際会議の企画、参加を通じて、情報交流に従事しています。

技術系職員

分析官としての業務に加え、これらの業務を効果的・効率的に実施するためのハード・ソフトの研究開発に関する業務、空間情報処理、リモートセンシング、データサイエンスやAIといった情報処理技術を用いて創造的な業務、新たな技術を盛り込んだ衛星に関する研究業務に従事しています。

職員メッセージ



日々成長

私は現在、画像・地理部で衛星画像の解析業務を担当しています。日々の業務では画像に写る事象を正確に把握するとともに、現在の状況から読み取れる今後の動きの予測や他地域との関係性など様々な視点から物事を考え資料作成を行っています。解析業務以外にも、インターネットや各種文献等の公開情報から関連する情報源の収集・分析を行い自分の知識として蓄えることでより多くの観点から状況判断ができるようにしています。業務は一人で行うものではなく、より多くの知識と経験を持った自衛官を含む職員と協力して業務に当たるため学びも多く、丁寧に指導していただけるため日々成長できる温かい職場環境です。

事務系（高卒）／令和3年入省／女性

私たちが作成した資料は自衛隊の部隊で活用されるとともに、時に首相官邸等における報告で用いられることもあり、緊張感と充実感に満ちた日々を過ごしています。業務内容を聞くだけではわからないことが多いと思いますが、当部では配属者に対して画像分析業務を基礎の部分から教育する体制が整えられており、部外教育も充実しているため技術や専門性を高めることができ未経験の方でも安心して業務に取り組むことができます。情報業務に興味のある方は、ぜひ選択肢の一つにしてみてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



日々、新しく美しい衛星画像に 出会える職場

技術系（大卒）／平成20年入省／男性

私は分析部の技術系部署で長く勤務した後、画像・地理部に異動し、現在は、画像分析業務に従事しております。画像・地理部では分析部と同様に公開情報も使いますが、衛星画像を主たる情報源とするところが分析部とは大きく異なります。日常の業務では、衛星画像の中に特異な事象が写っていないかを調べていくのですが、大量の衛星画像を分析する中で特異事象を見つけられた際は、望外の喜びがあります。また、特異事象は様々な形で高官に報告する機会があり、国家の安全保障に関わる提言を自ら実施できる点も魅力の一つと言えます。画像分析業務においては、教育制度が充実しており、画像の見方やソ

フトウェアの使い方等の教育を受ける機会が設けられています。そのため、私の経験上、初心者であっても比較的短期間で一人前の画像分析官になれると思います。また、この業務には事務官でも技官でも同じように携われますので、どなたも奮って志望していただければと思います。最近では、安全保障関連のシンクタンクをはじめとして、民間でも様々な場所で衛星画像が活用されていると聞きます。画像分析官としてのキャリアの第一歩として、画像・地理部を選んでみてはいかがでしょうか？みなさんと会える日を楽しみにしております！

我が国唯一の
電波情報部門
電波部



役割・特色

全国6か所に所在する通信所が収集した各種電波情報を調査・分析するとともに国家の安全保障に必要不可欠な情報を政府機関、防衛省内及び各自衛隊の部隊等へ提供しています。職員は、高い専門性をもって、秘匿度が極めて高い情報を取扱っています。また、陸・海・空自衛官と事務官・技官が協力し、強い責任感とやりがいを感じながら電波情報部門一丸となって我が国の防衛に大きく貢献しています。

語学系職員

高い語学力や専門知識の他、柔軟な発想力、思考力及びコミュニケーション能力を生かし、日々収集される情報資料の翻訳・調査・分析、重要政策や自衛隊の運用判断に必要となる各種報告資料の作成の他、情報の配布、関係機関との通訳及び企画・調整業務等の業務に従事します。

技術系職員

サイバーセキュリティ技術、通信工学、暗号技術及び数学等の専門知識・技能を生かし、各種電波の信号諸元を解明する業務、通信ネットワーク技術等に関する最新技術の調査・研究業務、ソフトウェア開発に関する業務及び収集器材開発業務等に従事します。専門知識・技能については、各種教育・研修等の機会を通じて個人の素養や適性に応じ、伸ばすことが可能です。

 職員メッセージ



**知的好奇心を
生かせる職場**

私は大学院を卒業後、防衛省に入省し電波部に配属されてから約10年経ちます。その間、約2年の国外留学も経験しましたが、一貫して信号解析業務に携わっており、近年は研究業務にも携わっています。私は学生時代に参加した国際学会において、その当時の専門分野が安全保障に寄与できることを知り、自身の知見を生かせる場所を調べた結果、情報本部電波部へと辿り着きました。入省後、大学・大学院で得た知見を活用できる場面もありましたが、業務遂行にあたり、新たに通信理論やプログラミング等の勉強の必要がありました。これらの分野は専門外であり不安もありましたが、部内教育が充実していること及び多くの知見を有する先輩方の丁寧な指導もあり着実に知識を習得し、

技術系(大卒)／平成26年入省／男性

活用できるようになりました。

電波部という組織は理系的素養を持つ方々の知的好奇心を満たすには最高の場所であり、自ら考え、主体的に行動できる人にとって電波部は最高の職場となるはずです。また、電波部は人材育成にも注力しており、各種研修や教育機会にも恵まれています。自身の知的好奇心を満たしつつ、自身のスキルを磨き、その結果、国の基盤である安全保障に貢献できる職場は他にはないでしょう。

ご興味を持たれた方は是非説明会等に参加していただき職員の生の声を聴いていただければと思います。



**自らのスキルが
日本の安全保障に貢献**

私は公務員試験の合格後、合格者の採用予定機関リストを見たときに、初めて情報本部という組織があることを知りました。インターネットやパンフレットで情報本部について調べていくうちに、自らの知識やスキルが日本の安全保障に貢献できるという点に関心を持ち、情報本部を希望しました。

現在、私は電波部に所属しています。ここでは職員それぞれが、自らのスキル・強みを生かし業務に取り組み、また更なるスキルアップを行っています。入省前から持っている知識を生かすというだけでなく、情報本部では個人のスキルを高める教育制度が充実しており、本やインター

技術系(高卒)／平成25年入省／男性

ネットでは勉強できないような高度なスキルや、自分が全く経験したことのない分野のスキルも1から身に着けることができます。

私生活の面では、可能な限り職員それぞれの生活環境にあった働き方をすることができています。勤務時間や休暇は自分に合ったものを選択でき、私自身2人の子供がいますが、それぞれ育児休業を1か月以上取得しました。育休などの制度があるというだけでなく、積極的に取得できるという環境も、ここで働けて良かった点の1つだと感じています。

自分のスキルを磨きたい、新しいスキルを身に着けたいという方は是非情報本部を希望してみてください。皆様と働けることを楽しみにしています。

「日本の耳」としての
役割を果たす通信所
通信所



役割・特色

我が国上空に飛来する電波を収集するとともに、収集した電波信号を迅速に分類・整理及び内容を調査し、電波部に提供しています。通信所では一般職(高卒者)試験からの採用者が、陸・海・空の自衛官とともに、こうした業務の実務を担っています。また、自らが収集・調査した電波情報が我が国の安全保障の一端を支えているという高い誇りと強い責任感を保ちながら、日々の業務に従事しています。

技術系職員

電波情報の収集・整理等の業務に必要な導入教育プログラムや研修を修了した後、各通信所に配置され、それぞれの適性に応じて、IT技術(情報セキュリティ、ネットワーク、プログラミング等)をはじめ各種通信技術及び語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした専門教育を経ながら、各分野における高いスキルを備えたプロフェッショナル集団の一員として、極めて秘匿度の高い電波情報の収集・整理等の業務に従事します。これらの業務は、「日本の耳」としての機能を直接支える仕事を行っており、「国防の最前線の現場で勤務している」という緊張感と強い責任感をもって全国各地で活躍しています。また、一定期間通信所での勤務の後、電波部に勤務し、本部機能を支える業務を行うことも可能で、自身の実力を発揮しやすい環境となっています。

 職員メッセージ



**やりがいのある仕事
働きやすい環境**

私は高校のとき情報技術を専攻していましたが、安全保障における情報というチャレンジングな分野において自分が培ってきた知識や能力を生かしたいと考え、情報本部を志望しました。

私は現在、情報本部の通信所で電波情報の収集業務を行っています。収集している情報には重要性が高く、速やかな報告を必要とするものがあります。そのため業務には責任がともないますが、我が国の安全保障に直結する仕事なのでとてもやりがいがあります。また、情報業務以外にも関連する様々な業務があり、専門性はもちろんのこと、多種多様なことに興味を持ち勉強する必要があります。そのため、プレッシャー

技術系(高卒)／令和2年入省／男性

を感じる部分もありますが、一つ一つの仕事をやり切ったときの達成感は何ものにも代えがたいと感じています。

休日や昼休みには同僚や上司とスポーツ等の活動を通じて、コミュニケーションが図れる環境であり、良い雰囲気だと感じています。

情報本部に就職したとしても本当に業務を遂行できるのか不安に思っている方もいらっしゃると思いますが、知識や技術に関する教育が充実しており、上司や先輩が親身に教えてくれるので安心して志望してほしいと思います。国の安全保障に関わっているという誇りを持ち、やる気に満ちた方と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



**魅了的な職場
－情報の最前線－**

私は、令和元年から、情報業務最前線の通信所で収集業務に従事しています。

私の仕事は日々刻々と変化する状況の中で、情報源の獲得・選別をし、迅速に情報を提供していくことです。

これだけを聞くと難しい仕事という印象を受ける人や、情報本部の仕事内容がわからないと思う人がいるかもしれませんが、入省後には、基礎及び専門の課程教育で段階的に学ぶ機会を与えてもらい、組織に貢献出来るまでの知識・技術が身につくので、心配はいりません。

仕事を通じてリアルタイムで情報資料を収集・処理・提供し、それらの情報が国防に直接貢献している事を身近に実感することが出来るので、非常にやりがいを感じています。また、職場においては、ワーク

技術系(高卒)／平成31年入省／男性

ライフバランスに理解がある上司、親身になってくれる先輩、同僚方に囲まれ、伸び伸びと仕事に打ち込める環境となっており、とてもアットホームな職場です。

近年の我が国周辺の安全保障環境の著しい変化に伴い、情報の中枢である情報本部に注目が高まり、情報に対する要求が日々増加しています。また、情報本部はIT分野にも力を注いでおり、IT分野の知識・技能にたけている人材を求めています。

皆様の住む日本の国防の一端を担う、情報の最前線である通信所で勤務し、国防に貢献したい又はやりがいのある仕事がしたいと思っています。皆様と一緒に勤務できることを心よりお待ちしております。

語学力を生かし将来の分析官を目指したいあなたへ

防衛省専門職員採用試験



概要

防衛省専門職員採用試験の試験区分「英語・ロシア語・中国語・朝鮮語・アラビア語・インドネシア語・フランス語・ペルシャ語」の合格者から、高い語学力に加え、我が国の安全保障や諸外国・地域の情勢(政治・外交・文化・民族問題等)への関心があり、論理的思考能力や表現能力に優れた人材を採用します。年度により採用言語が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

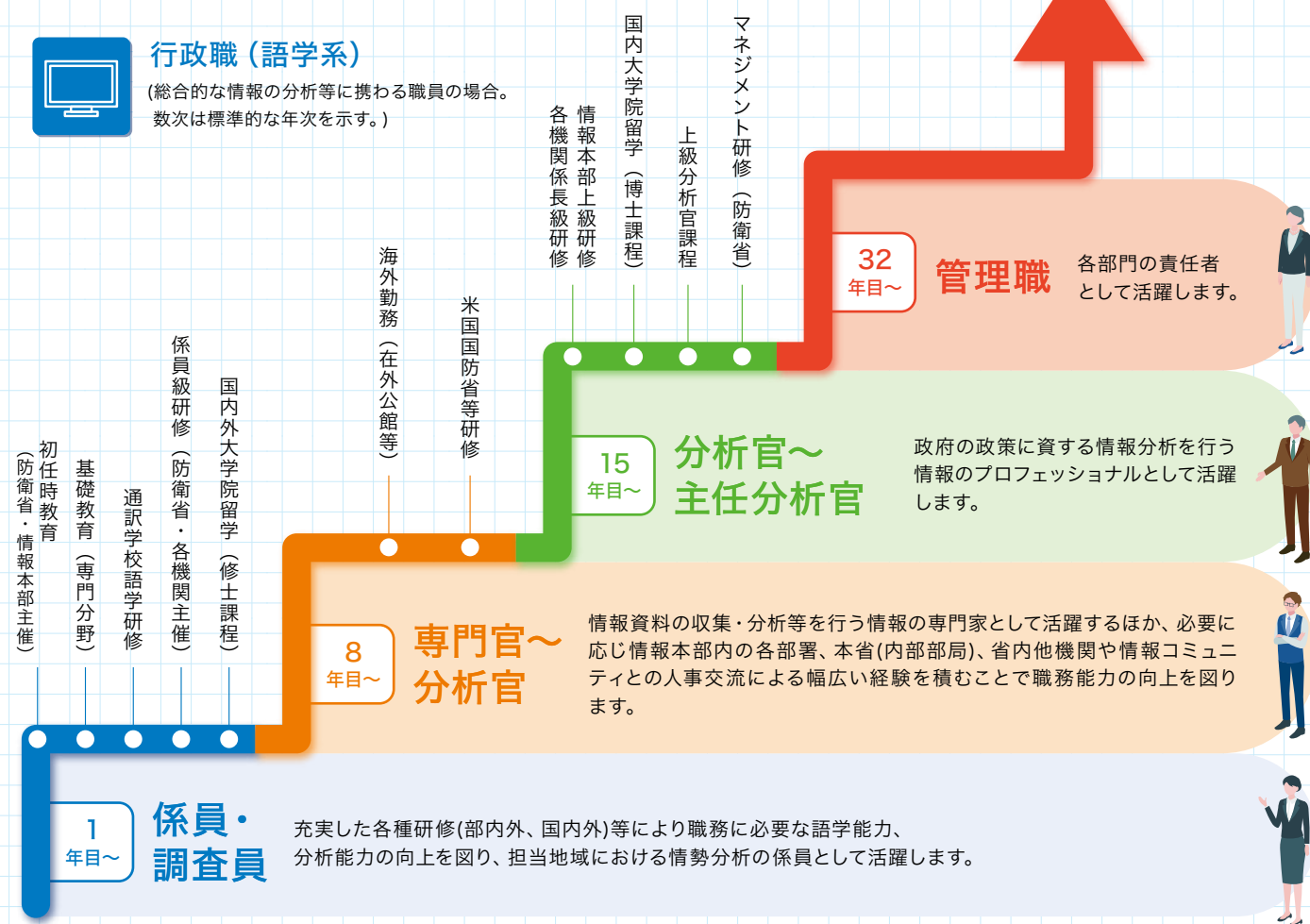
専門語学能力を駆使して、国際関係や軍事情勢など日々収集される情報の処理や分析、安全保障に資する各種資料の作成、報告、国内外関係機関等との情報交換にかかわる業務等に従事します。

こんな人を求めています

語学力・知識を生かす人材

語学力や国際関係・安全保障に関する知識を生かしつつ、同分野でのトレンドを追うことに意欲的かつ国内外へのプレゼンや調整業務にも前向きな人材を求めています。

キャリアパスの一例

成長する機会に恵まれた
充実した28年間

私は情報本部1期生(英語採用)で、入省28年目になります。振り返ると、その時々の上司・同僚らとの出会いとともに、職務を通じ様々な経験・知見が得られ、社会人として成長する機会に恵まれた28年間だと感じています。

3年目から配属された分析部では、絶えず変化する国際情勢を追う中、事務官・自衛官の上司から、状況の正確な把握、軍事的な知見、論理的な分析、簡潔明瞭な文

章構成等、分析官として必要なノウハウを日々粘り強く教えていただきました。

その後も、①高官への報告調整を通じ、カスタマーニーズの把握、②内局では、能力構築支援事業担当として防衛政策の現場に関与、③主任分析官として、プロダクトの質的管理や後進の育成など、年数を経るごとに異なる経験と充実感が得られました。

ますます混迷する国際情勢を相手にするぞ、という気概を持ち、様々な出会いと成長の機会がある情報本部での勤務に魅力を感じられる方、ぜひお待ちしております！



語学系
平成9年入省 女性

私のキャリアパス



VOICE

職員の声

係 係員級 (入省2～5年) 長 係長級 (入省10年前後) 分 分析官級 (入省15年前後)

情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。



情報本部ではWLBが特に重視されており、休暇を取得しやすい環境が整っています。私も業務に集中する時間とプライベートな時間を区別し、公私ともに充実した生活を送ることができています。

情報本部を志望した理由を教えてください。



大学で専攻していた国際法や国際関係の知識と、個人で身につけてきた語学のスキル双方を生かせると思ったからです。また、政策サイドや運用サイドの意思決定者の判断に資する情報を提供し、国防を陰から支えるという仕事に憧れを感じたからです。

情報本部の仕事のやりがいについて教えてください。



我々が日々積み上げ、提供する情報が、政策・運用の検討の両面に生かされる瞬間を感じられることがやりがいです。情報の受け手から「役に立った!」とフィードバックを頂ける瞬間や、一分析官として、事務官・自衛官を問わずに議論ができる時間が楽しみです。



私が特にやりがいを感じた瞬間は、高官等に報告を実施した際に、お褒めの言葉や感謝の言葉をいただいた時です。情報本部では、若手の頃から報告等をする機会があり、自身の作成した資料が国の防衛に役立てられていると感じることができます。

仕事で普段心がけていることを教えてください。



刻々と変化する国際情勢をフォローする情報本部の業務においては、未知の領域を前に不安を感じる時や、課題が達成困難に思える時もあります。そのような場合でも、知的好奇心をフルに発揮して、前向きに挑戦する姿勢を維持しようと心掛けています。

これまでの勤務で印象に残ったエピソードを教えてください。



ある国際情勢をテーマに防衛省・自衛隊の幹部に報告を行い、その幹部が報告の内容を踏まえて部下に対する指示を行う様子を目にした際に、自らの報告が防衛省の政策・自衛隊の運用に関する意思決定に役立ったのではないかと考えたことです。



入省3年目に、複数の省高官の前に発表する機会を持てたことです。膨大な調査、上司・同僚との議論、資料の入念な作りこみ、徹底的な質疑準備を行い、チーム一丸となって乗り越えた経験、また、省高官のフィードバックを直接得られた経験は得難いものでした。

入省前にやっておいて良かったこと
又はやっておいの方が良いことを教えてください。

大切に思える友人関係を行動においても大切にすると良いと思います。今後、自分とは異なる分野で社会に出る友人もいるでしょう。そうした友人との関係は、時として、自分が所属する組織では得難いような知識や気づきを与えてくれると思います。

情報本部を目指している学生へのメッセージ



公務員の魅力の一つは自分の職業人生を比較的に長い目で見通せることだと思いますが、情報本部では、様々なワークライフバランス制度を活用し、その時々自分のライフステージに合わせた勤務形態を選べるため、持続可能な勤務を実現しやすい環境だと思います。



日々の国際情勢について疑問を覚え、その分析に打ち込みたいと考える皆さん。経験豊富で多様な背景を持つ自衛官、事務官及び技官がチームになって情報を扱う情報本部は、我が国最大の情報機関として、その熱意を追求するに値する場所だと信じています。

数理的センスやITスキルを駆使して仕事したい・行政事務に従事したいあなたへ

国家公務員採用一般職試験 (大卒程度試験)



概要

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)の試験区分「行政」、「デジタル・電気・電子」及び「機械」(以下、「技術系」という。)、さらに「教養」の合格者から採用します。なお、技術系からの採用者は、配置される職務によって俸給表(行政職又は研究職)が決定されます(入省後、配置換え等により変更する場合もあります)。

このほか、国家公務員採用総合職試験の合格者から採用することがあります。年度により、採用をする試験、試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

- 行政区分**
- 人事、給与、会計、機材調達、情報保全保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等
 - 衛星写真の解析、デジタル地図の作成。地理空間情報の分析等
 - 衛星写真の解析、デジタル地図の作成。地理空間情報の分析等
 - 統計・代数学、通信工学等の知識を用いた、各種電波信号の解析や収集した電波情報の解析
- 技術区分**
- 情報に関する最新技術の調査や通信処理、高速処理技法、符号機構の研究や解析をするためのソフトウェアの開発
 - デジタル、ITの知識を生かしたサイバー領域に関する情報収集・分析やサイバーセキュリティ対策

こんな人を求めています

- 組織の基盤を支える人材**
- 人事、会計、機材調達、情報保全・情報保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等の多種多様な業務に携わるため、何事にも前向きに取り組む意欲のある人材を求めています。
- 数理的な知識・能力を生かしたい人**
- 衛星写真や信号の解析及びその効果的な解析手法の研究など、得意とする数学や情報、電気・電子工学のほか、ITスキルを活用したい人材を求めています。

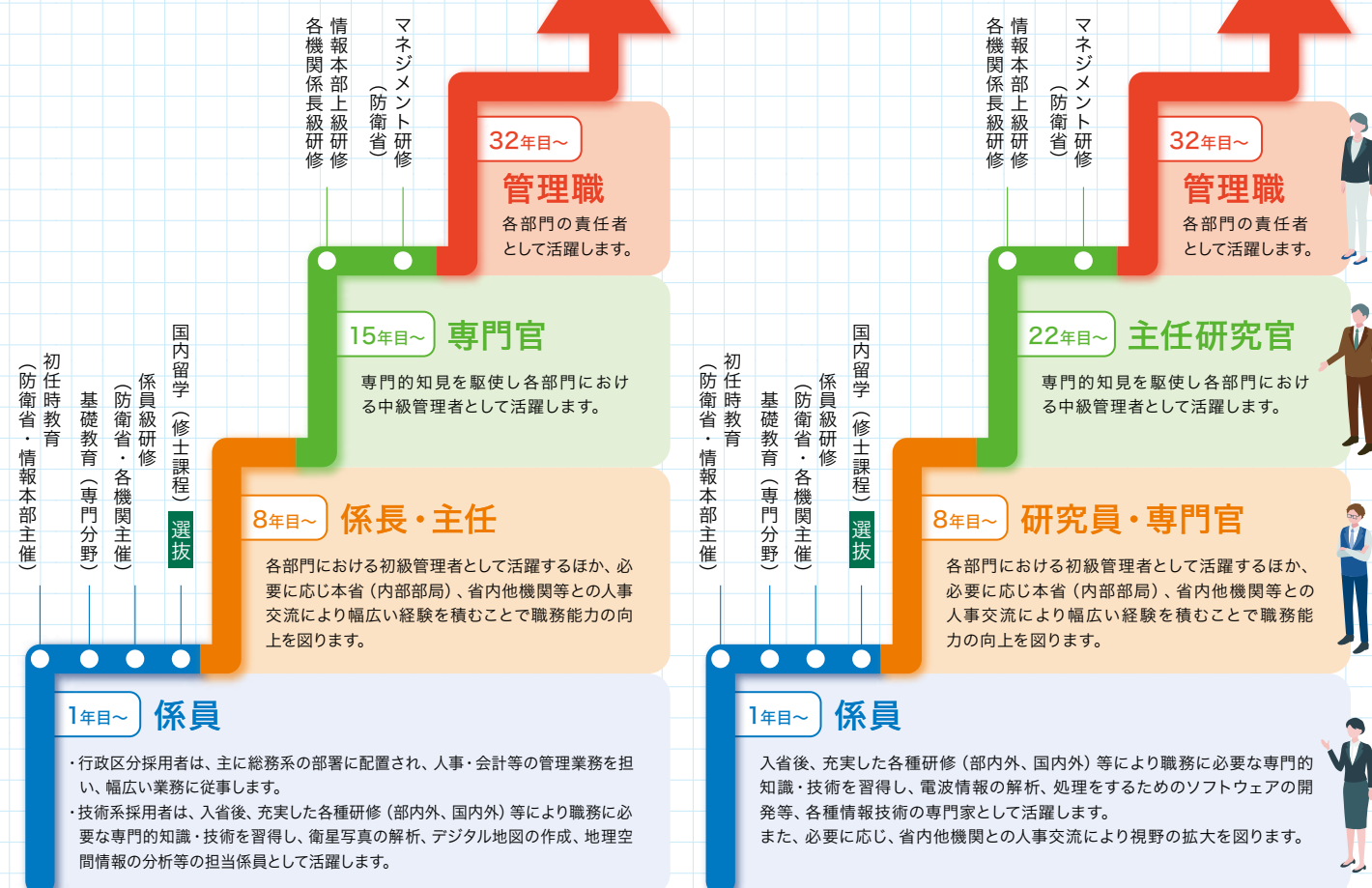
キャリアパスの一例

行政職(行政・技術系)

人事・会計等の業務、衛星画像の解析等に携わる職員の場合(数次は標準的な年次を示す。)

研究職(技術系)

電波情報の解析に携わる職員の場合(数次は標準的な年次を示す。)



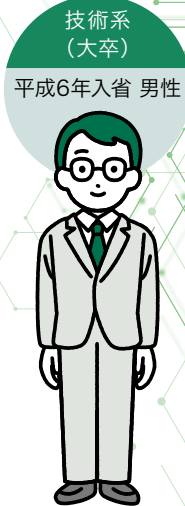
専門知識を生かせる職場

私は、就職雑誌で防衛省(当時:防衛庁)が技術系職員を採用していることを知り、大学の専門である応用数学を生かせると考え受験しました。

入省後は、主に電波部で解析業務に従事してきました。解析業務は、業務遂行に必要な技術的知識が幅広く、日々の勉強が不可欠で、困難な問題に直面することもあります。成果を上げたときには技術系職員としてこの上ない達成感や充実感を得ることができる業務で

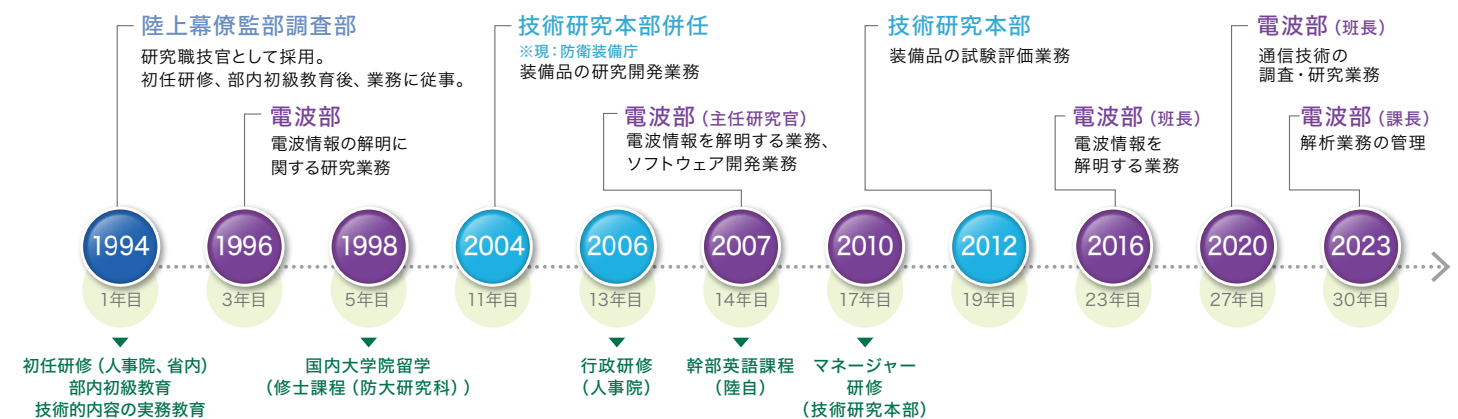
あると思います。また、機関交流として配属された防衛装備庁においては、研究開発業務を経験し、技術行政の側面で視野を広げる良い機会にも恵まれました。

現職では、解析業務の管理を担当しています。責任は重いですが、長年培ってきた技術的な知識や経験を業務に生かせるという利点を強く感じるとともに、高官報告において我々の技術が我が国の安全保障を支えているという実感を得ることができています。



技術系(大卒)
平成6年入省 男性

私のキャリアパス



VOICE

職員の声

係 係員級 (入省2~5年) 長 係長級 (入省10年前後) 専 専門官級 (入省15年前後)

情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。



風通しがよく、若手からでも新規プロジェクトの担当者として活躍することができます。責任もありますが、その分様々な経験が得られますので、仕事における成長機会は多くあります。



電波部の技術系職員として採用された場合は、配属後にIT技術、無線通信技術、数学等の基礎教育があり、数年後にはさらに上のレベルの教育も用意されています。その他に外部への委託教育、大学院研修等で最先端技術を学ぶ機会もあり全体的に教育が充実しています。官公庁の研究業務は自身で実際に研究することは中々できず、民間企業が実際の業務を担うことが多いです。しかし、情報本部では自分自身で研究することができるため学生時代に経験した研究と実際の仕事が概ね一致するのは魅力のひとつです。

情報本部を志望した理由を教えてください。



高専時代に、SAR(人工衛星等に搭載される合成開口レーダー)に関する研究をしていたことがあり、画像・地理部での業務内容に持っている知識を役立てられるのではないかと思います。志望しました。

仕事で普段心がけていることを教えてください。



仕事中に困ったことや不測の事態、疑問に思ったこと等があったら先輩等に聞いてみるということを心がけています。予想していなかった事態に対して判断を周囲とすり合わせて仕事を進めていくのが大事だと思います。



わからないことは周りの人に聞くことです。確かに技術職はいる自分でも試行錯誤することが醍醐味ですが、周りの人に聞くことによって新しい発見や問題点が見つかることが多いので仕事ではそれを一番心掛けています。



入省前にやっておいて良かったこと又はやっておいた方が良かったことを教えてください。

ピンポイントで自分の研究内容と業務が一致することはあまりないと思いますが、研究手法は業務に直結することになるため、大学での研究をしっかり取り組んだ方が良いと思います。また、英語の規格書や論文を読む機会があるので勉強しておくといいと思います。



業務で使うことがあるので、基本的な数学やIT、英語の勉強を行っておくと良いと思います。また、旅行に行ったり、友人と遊んだりするののも個人的にはやっておいた方が良いでしょう。

情報本部を目指している学生へのメッセージ



情報本部の仕事は日本の安全保障に欠かせないものであり、とてもやりがいのある仕事です。専門知識がなくても情報本部には研修が充実しています。ぜひ興味のある方はぜひ情報本部を受けてみてください。皆様と働ける日を楽しみにしています。



説明会やパンフレットを見ても業務の詳細が不透明なので、実際どういう仕事をするのか不安だと思います。ですが業務内容は突飛なことではなく、一般的な理工系学部で学んできた学生さんであれば抵抗なく業務に入り込めていけると思いますので安心して志望してもらえればと思います。

技術・一般事務に従事したいあなたへ

国家公務員採用一般職試験 (高卒者試験)



概要

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）の試験区分「事務」「技術」合格者から採用します。年度により採用をする試験区分が異なる場合がありますので、募集情報などの詳細は、防衛省のウェブサイトでご確認ください。

業務内容

- 人事、給与、行政文書管理、会計、物品の管理等
- IT、プログラミング、語学等を含む専門知識の向上、技能の習得を目的とした課程を経ながら、電気・情報、機械等の高い専門知識を備えたプロとして、各通信所における電波情報の収集・整理等に従事
- 衛星画像の解析や海外任務に派遣される自衛隊部隊のオペレーションに必要な現地の地図や地理情報の整備、また、これらの業務を効果的・効率的に実施するためのハード、ソフトの研究開発に従事
- デジタル・ITの知識を生かしたサイバー領域に関する情報収集・分析やサイバーセキュリティ対策に従事

こんな人を求めています

事務区分 組織の基盤を支える人材

人事、会計、機材調達、情報保全・情報保証、情報システム管理、各種事業計画の策定等の多種多様な業務に携わるため、何事にも前向きに取り組む意欲のある人材を求めています。

技術区分 数理的な知識・能力を生かしたい人

衛星写真や信号の解析及びその効果的な解析手法の研究など、得意とする数学や情報、電気・電子工学のほか、ITスキルを活用したい人材を求めています。

キャリアパスの一例

行政職 (事務・技術系)

(数次は標準的な年次を示す)

初任時教育
(防衛省・情報本部主催)

基礎教育 (専門分野)

係員級研修
(防衛省・各機関主催)

8
年目～

係長・主任

事務系 各部門における初級管理者として活躍する他、必要に応じ本省（内部部局）、省内他機関等との人事交流により幅広い経験を経ることで職務能力の向上を図ります。

技術系 初級管理者として活躍する他、必要に応じ情報本部内及び他機関との人事交流により幅広い経験を経ることで職務能力の向上を図ります。

32
年目～

専門官・ 班長職

事務系 幅広い経験、知識をもって情報本部各部門の他、省内各機関等の中級管理者として活躍します。

技術系 専門的知見を駆使し情報本部内（画像・地理部、電波部、各通信所等）の各部門における中級管理者として活躍します。

係員

事務系 総務系の部署に配置され、人事・給与等の管理業務を担い幅広い業務に従事します。

事務・技術系 充実した各種研修、教育等により職務に必要な専門的知識・技術を習得し、主として①通信所において電波の収集業務の最前線として活躍。②画像・地理部において衛星画像の解析等に従事します。

我が国の安全保障に貢献

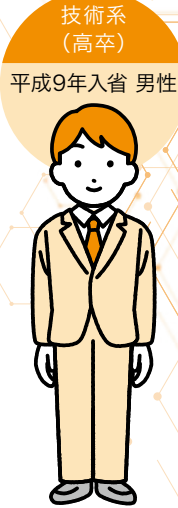
日本の国防を担う防衛省・自衛隊に興味のあった私は、専攻していた電気工学の知識を生かすため、防III種技術系試験（当時）を受験しました。

入省後は、情報本部や内部部局で多岐にわたる業務経験を積み、他省庁への出向で幅広い知見を得ることができました。また、部内外及び海外も含めた様々な研修や教育の機会があり、充実した環境の中で段階的に能力を向上させることもできました。

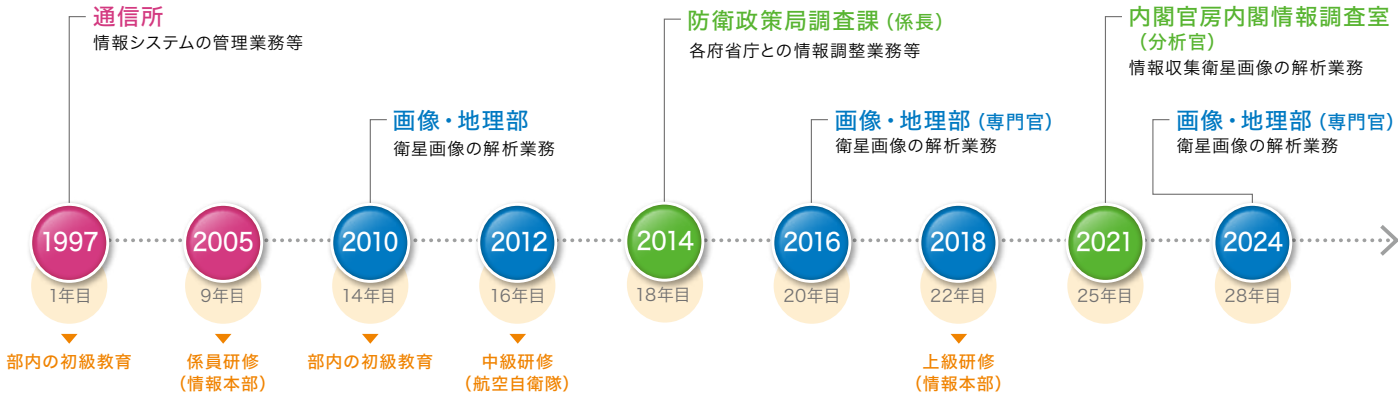
現在は3度目の勤務となる画像・地理部で、衛星画

像の解析業務を行っています。画像情報は、他国の動向や災害状況などを視覚的に把握することができ、安全保障に欠かすことのできないツールとなっています。また、夜間帯であってもレーダー画像を用いて情報を得ることができるため、防衛政策に資するとともに自衛隊の運用にも貢献しています。そのため、内外から注目され、やりがいのある職場です。

皆さんの学んだ技術、情報本部で生かしてみませんか。



私のキャリアパス



VOICE

職員の声

係 係員級 (入省2～5年) **長** 係長級 (入省10年前後) **主** 主任研究官級 (入省15年前後)

情報本部の魅力・アピールポイントを教えてください。

係 情報本部は日本最大の情報機関であるとともに、入省2～3年目の若手職員でも、プロダクト作成や報告といったやりがいを感じる仕事を行います。また、他省庁にはない業務に携わることが出来ることに魅力を感じます。

主 情報本部の特性として、陸海空それぞれの職種の自衛官と一般事務や語学、技術、研究職等の事務官等と共に勤務することも多く、様々な視点から意見を取り入れることができるため、知見を広めることができる部署だと考えています。

情報本部を志望した理由を教えてください。

長 高校時代に学んだ情報技術を生かし、なにか防衛・安全保障に携われる仕事をやってみたいと思い、情報本部を志望しました。

情報本部の仕事のやりがいについて教えてください。

係 情報本部だからこそ扱える機材や秘匿性の高い情報業務に携わることで、自分が国防の一端を担っているという実感を得ることができ、責任感や使命感を持って業務に取り組むことができます。

主 情報本部の特性として、取り扱う情報は秘匿性が高く、常に緊張感や責任感が必要となります。表向きにアピールできる仕事ではありませんが、何らかの形で自分が上げた成果にスポットが当たったときの達成感や充実感はこの上ないものとなります。

仕事で普段心がけていることを教えてください。

係 私は日々、些細なことでも1日1つ新しい知識を身につけるということを心がけています。情報職種ということもあり、より多くの知見が幅広い視野の判断及び評価につながると感じます。

主 仕事は一人で達成するものではなく、周りの協力が必要でその逆もあると思います。そのために私は、人との関わりを大事にしています。いろんな人と話すことで、親睦が深まるだけでなく、行き詰っていた仕事の突破口が見えてくるなど、効率化にも繋がると 생각합니다。

入省前にやっておいて良かったこと 又はやっておいた方が良かったことを教えてください。

係 基本的にPCを使って業務を行うことになると思うので基本的なPC操作はできるようにしておけば必ず役立つと思います。また、余裕があればITパスポートや基本情報技術者の資格勉強をしてITの知識を身につけておくとう良いと思います。

情報本部を目指している学生へのメッセージ

係 情報本部でどのような業務を行うのか不安になると思いますが、明るく優しい先輩や上司が丁寧に教えてくれるので安心して入ってきてください。そして一緒に業務ができる日を心からお待ちしております。

長 「情報」と聞くと難しいイメージがあるかもしれませんが、教育の機会が充実しているため安心して仕事に取り組むことができます。また、経験豊富な上司や先輩が親身になり教えてくれます。情報本部でしかできない経験を一緒にしましょう。

主 情報本部は様々な特技や専門分野を持った陸海空自衛官と事務官等が集まった情報機関です。多岐に渡って活躍の場が用意されています。研修やOJTなど能力向上の機会も整理されているので、はじめから特技がある者、これから学びたい者、どなたでも歓迎します。

留学

国際情勢を分析する上で必要な安全保障に関する知見や各技術分野における解析に必要な技能・知識を得るため、国内外の様々な大学院（修士課程・博士課程）への留学の機会があります。

国内留学



国内大学院留学で学んだこと

技術系(大卒)／平成26年度入省／男性

現在の職務内容について教えてください。

私は電波部において、無線通信技術および暗号・セキュリティ技術に関する最新技術の動向調査のほか、新たな部内システムの導入へ向けた調査研究などの業務に従事しています。

留学について教えてください。

これまでの業務で培ってきた無線通信技術の専門性をさらに高めるため、国内の大学院に2年間留学する機会を得ました。大学院では、次世代無線通信ネットワークに関する研究に取り組み、研究活動や国内外での研究成果の発表などを通じて貴重な経験を積むことができました。

留学の経験から何をすることができましたか？

大学院で指導教員や研究員の方々と議論したりお話ししたりすることは新鮮かつ刺激的で、その折に新しい視点や考え方に触れることができました。これまで見えていなかった課題や可能性を発見することができ、視野が大きく広がったと感じています。

未来の情報本部職員にメッセージをお願いします！

情報本部には、部内での研修のほかに大学院留学をはじめとした様々な部外研修を受ける機会が用意されています。皆さんと切磋琢磨しながら働けること、そして共に新たな分野に挑戦できることを心待ちにしています。

国外留学



眠らない町、眠らない図書館にて

語学系／平成29年度入省／男性

これまでのキャリアと、現在の留学の様子について教えてください。

私は入省後7年間、分析部、統合情報部、内局で勤務した後、米国留学の機会を頂きました。現在はニューヨークにある大学院の修士課程に在籍し、経済や統計等の数的分析手法に関する必修科目に加え、専攻の安全保障や副専攻の地域研究に取り組んでいます。安全保障科目では、理論的枠組み及び実務への応用を想定し

た理論に基づく分析手法の獲得に主眼が置かれています。毎週300ページ以上の課題図書があり、大学図書館は深夜まで学生で溢れ、負担は大きくも知的に刺激的な日々を送っています。

留学前の業務内容はどのようなものでしたか？

留学前の分析業務では、個々の事象の細部知識獲得に執心し、自身の分析アプローチは帰納法的思考・推論に偏っていました。帰国後の業務では、現在学んでいる理論的枠組みの活用を中心に、演繹的分析アプローチもより取り入れていきたいと考えています。

未来の情報本部職員にメッセージをお願いします！

情報本部は研修機会、研修を経て培った知識・技術を活用する機会に恵まれています。いずれの機会も個々の分析能力向上に寄与し、それが日本の防衛政策及び地域の安全保障に繋がっていくものと確信しています。興味を持った皆さんと将来一緒に働けることを楽しみにしています。

在外公館出向

外務省に出向し各国の在外公館で勤務する機会があります。現地情勢を肌で感じるとともに、外交という立場から我が国と任国の情報に携わるにより、その後の情報本部での勤務に生かすことのできる多種多様な経験を行うことができます。



外交の最前線で様々な人と交流し 自らの知見を広げる機会

語学系／平成19年度入省／女性

メッセージをお願いします！

在シンガポール日本国大使館で、二国間の防衛関係を担当しています。日シンガポールは、高官往来訪、政策対話、軍種間交流、防衛装備技術協力など幅広い分野で交流がある他、自衛隊の艦艇や航空機が海外に展開する際の寄港地／寄航地として受け入れてもらっています。また、シャングリラダイアログなど安全保障分野での国際イベントも多数開催され、各国と交流する場になっています。大使館ではこうした交流を各種調整を通じてサポートするとともに、任国政府、外交団、有識者と活発に交流し、得られた情報を日本の政策形成や意思決定に役立てています。

在外公館勤務は外交の最前線であり、日本の安全保障・外交政策がどのように実施されているかを目の当たりにできる貴重な機会です。また、シンガポールには東南アジア地域でも有数のシンクタンクが集まり、地域の安全保障情勢に関し様々な見方に触れ、自らの知見を広げることが可能です。皆さんの入省をお待ちしています。



CASE:1

ある分析官(画像解析)の一日

「このストーリーは、情報本部に勤務する複数のある分析官(画像解析)及びある分析官(語学職員)の



技術系(高卒)/平成22年入省/男性

毎朝仕事の開始は世界の動き、組織の動きのチェックから始まる。昨日どのようなことがあったのか、今日上司はいつどのタイミングで在室、不在なのか等々。それに伴い自身の任務の優先順位を定める。



関係機関へ提供するプロダクトの報告が始まる。この機会を通じて他の部署がどのような資料を作成しているのか、上司からどのような情報発信の仕方や見せ方を意図したプロダクトに留意すればよいか指導指針が示され、資料に反映させ今後の業務に生かしていく。



本日は定期的に開催される関係者とのミーティングの日である。関係各所が会話し情報交換を行う。現在どのような情報にニーズがあるのか関心事項を把握し、より良いプロダクト作成に資する情報の入手に努める。

朝早い分帰日も早い。この時間帯であれば電車もさほど混んでおらず快適に帰宅。夕方からの時間を有効に活用できる。さて、今日は何をしようか。音楽に興じるのもよし。映画を見るのもアリだな。そういえば募集用パンフレットに記載する「ある分析官の一日」の寄稿を依頼されていた。今日は少しでも興味を持ってもらえるよう文章を練ることにしよう。



6:00

通勤

通勤電車に乗る。情報員の朝は早い。日々変化する社会情勢をプロダクト化し、上司に午前中報告するためには早朝から作業を開始する必要がある。早起きは慣れると電車の通勤ラッシュも回避でき比較的ストレスなく通勤できている。



7:00

情報業務

情報は鮮度が命。本日入手している情報で関係各所へプロダクト化して報告しなければならないことの確認を行っていく。様々な情報を駆使し、多角的に情報を処理できる分析官になるには一朝一夕では不可能であるが、経験豊富な上司やフレッシュで柔軟な発想を持っている新人、陸・海・空自衛官、事務官、技官といった様々な立場の職員と意見交換を日々重ねながら己の成長と共にユーザーに理解しやすい資料作成に努めている。



10:00

報告

11:00

12:00

昼休み

食事を終え小説の世界に入る。職場にスマホを持ち込めないのは不便も感じるが、手元にあればなにかとスマホを触り、プライベートでもSNS等デジタル情報に接する機会が多い昨今において、活字のアナログ世界に飛び込むことは、多忙な情報化社会から隔離され良い息抜きとなっている。

13:00

情報共有

ミーティングから帰り、内容を班内で共有する。関心事項や情勢が不安定になりそうな地域や国際情勢があるか等協議し、事前にアンテナを張っておいた方がよい事項を確認する。困難な場面に直面することもあるが、個人では解決できない問題は仲間とコミュニケーションをとり、組織が一丸となって共に前へ進むことが重要である。



16:00

退庁

16:00

CASE:2

ある分析官(語学職員)の一日

業務体験を踏まえ、生起しうる事象を一日に凝縮して書き起こしたセミ・フィクションです。」



語学系/平成25年入省/女性

職場に到着次第、報道やメールを確認し、至急取り掛かるべき業務があるかを確認する。なお、私は子ども2人を保育園に送り届けるため、勤務時間を短縮できる制度を利用しており、所定の勤務開始時間より1時間遅い、9時30分から勤務が始まる。



部内でのミーティングにおいて、これまで約2か月にわたり準備してきた省内幹部向けのブリーフィング資料を上司に確認していただく。上司から、政策サイドのニーズに合致した内容であるとの良い評価を得られた一方、より分かりやすく伝えるための示唆をもらう。



通常昼休みは12時から1時間だが、家庭の都合により朝夕の勤務時間を短縮しているため、昼休みを30分に短縮する制度を利用し、勤務時間をできるだけ多く確保している。そのため、昼食はいつもお弁当を持参。時間とお金を節約する。

資料作成が一段落ついたところで、今朝気になった報道に関連する情報を収集する。国内・海外メディアの報道内容を見比べつつ、背景事情や過去の事例等も調べておく。急な情報要求にも対応できるよう、できるだけ幅広い情報に目を通し、自分なりに整理しておく。



今日中にやるべき業務を、無事に定時時間内に終わらせて退庁。子どもを保育園に迎えに行くため、退庁時間も所定より30分短縮し、残業はしない。いつも自分が迎えに行くところ、満面の笑みを見せてくれる子ども達。彼らに会えることを楽しみに、急いで保育園に向かう。

登庁

9:10

MTG

10:30

昼休み

12:30

情報収集・整理

14:15

退庁

16:15

6:00

7:00

8:00

9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

資料確認

9:30

他の部署が作成した資料について、意見照会が来たので確認する。最近の国際情勢は、国家横断的・分野横断的な視点で分析すべき事象が多数起きており、そうした情勢を反映するように、情報本部においても、一つの資料を作成する上で複数の部署が連携・協力することが一層求められるようになった。今回意見を求められた資料についても同様である。より良い資料作成に貢献できるよう、自分なりに修正・コメント案を考え、上司と相談した上で回答する。



資料作成

11:30

ミーティングの結果を踏まえ、資料を修正する。修正後の資料を改めて上司に見ていただいたところ、これでOKとのこと。これで省内幹部に対しても、自信をもってプレゼンすることができそうだ。あとは本番までの間に、いくつか補足資料を作成しておこう。

資料作成

13:00

午前中に作成した資料とは別に、もう一つの資料作成に取り掛かる。こちらは軍事的知識がかなり必要とされる資料であるため、同じ部で勤務する自衛官や技官の方々から色々と教えていただきながら、資料の構成や内容を考える。情報本部は語学職の事務官のみならず、陸・海・空の自衛官と技官が同じ部署で勤務する機関である。よって、軍事的・技術的な知識を吸収して、分析官としての視野を広げる機会に恵まれている。この利点をフル活用し、より視野の広い、深みのある分析になるよう心がけながら作業を進める。



会議準備

15:00

まもなく行われる外国関係機関との会議に参加することになっているため、その準備に取り掛かる。語学職員は会議に向けた翻訳や通訳を行う機会もあり、決して負担は少ないものの、語学力の向上のためには絶好の機会である。会議の円滑な進行に貢献できるよう、入念に準備しておきたい。会議参加者と打ち合わせをしつつ、当日先方と議論したい内容や、議題に関する専門用語等について勉強する。

若手職員アンケート

語 語学系

大(行) 行政
(大卒程度)高 事務・技術
(高卒者)大(技) 技術
(大卒程度)

Q 情報本部を志望した理由を教えてください。

- 高 最先端技術を活用する仕事をしたいから。
- 大(行) 自分の興味のある分野で国民のために働きたいと思ったから。
- 大(行) 日本国内だけでなく世界規模で活動する防衛省自衛隊の活動に貢献できると考えたから。
- 大(技) ITや数学の知識を生かした仕事ができると聞き、興味を持ったから。
- 語 インテリジェンスに興味があり、加えて、仏語を使う仕事に従事したかったから。

Q 休日の過ごし方を教えてください。

- 高 学生時代の友人や情報本部の同期とご飯に行ったりしている。予定がない日は家で映画やアニメを観ている。
- 大(行) 家族と話したり音楽を聴いたり、家でゆっくり過ごしている。
- 大(技) 好きなアーティストのライブに行く。
- 語 休日は大体外出して友達とかと遊んでいる。いい息抜きになって仕事のモチベーションにもつながっている。

Q 役に立った試験対策があれば教えてください(面接)。

- 高 話す内容をパンフレットやホームページに載っていることと繋げられるように考えたこと。
- 大(行) 防衛白書等の情報本部に関連する文章を読み込むこと。政府内での役割を意識し、説明できるようにしました。
- 大(技) 一般的な面接対策をした。(例:面接のマナー、志望動機など)
- 語 日々、新聞を読むこと。昨今の情勢の流れなどを信頼できるソースから知ることができる。

Q 情報本部を選んで良かったことを教えてください。

- 高 教育・研修等が長い時間あり入省時には分からない事が多かったが安心して業務に取り組めた事です。
- 大(行) 大学で学んだことを生かし、自分に合った仕事ができること。
- 大(行) 他では触れることのない様々な情報に触れることができること。
- 大(技) 様々な部隊や機関から配属された隊員構成なのでいろいろな経歴を持った方々の話を聞ける機会があり、刺激と与えられることです。
- 語 日常生活では知ることのできない、世界の防衛や政治について知ることができる。自分の知識や語学能力を使用して防衛省に貢献できたこと。

Q これまでの業務で印象に残っていることを教えてください。

- 高 様々な基地への研修や総火演を間近で見ることができたことです。
- 高 外来調整や喫食申請を初めて担当したこと。他部隊との調整は緊張した。
- 大(行) 滞りなく出張の手配ができ、出張者の方にお礼を言われたこと。
- 大(技) 各自衛隊の駐屯地に実際に行って、各自衛隊の業務について見学したこと。
- 語 自分が作成した成果物が大臣に共有されたこと。

Q 内定後から採用までにやっておいで良かったことを教えてください。

- 高 ビジネスマナーの試験を受ける。パソコンスキルを身につける。
- 大(行) 新聞を読んでいたこと。省が取り組んでいることを知ることができ、略語の意味を学ぶことができたから。
- 大(技) 自分の行きたいと思っていた場所に長期かけて旅行すること。
- 語 国際情勢を把握しておくこと4月以降の業務に役立つ。仕事が始まると週末疲れて何もできないことがあるので今のうちにたくさん旅行したり遊びに行ったりして最後の長期休暇を楽しむ。

Q 入省前後で感じたギャップがあれば教えてください。

- 高 自衛官の方に体育会系で少し怖いイメージを持っていたが、全くそんなことはなくとても優しい。
- 大(行) 最初の半年ほどは研修メインかと思っていましたが、早い段階で、情報プロダクト関連業務に携われました。
- 大(技) 想像よりも事務官や技官、自衛官が分け隔てなく業務にあたっている。
- 語 外国語能力も重要であるが、人に簡潔かつ的確に伝えられる日本語の文章作成能力もかなり求められること。

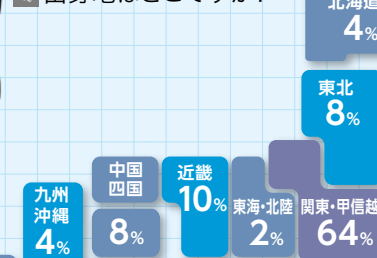
Q 役に立った試験対策があれば教えてください(筆記)。

- 高 復習の徹底。
- 大(行) 専門科目に勉強時間の大半を捧げました。教科書や市販のテキストで科目内容を学び、あとはひたすら問題演習を行いました。
- 大(技) 出題傾向や配点を確認しつつ、過去問題をひたすら解く。
- 語 仏語の過去問を開示請求して解いた。

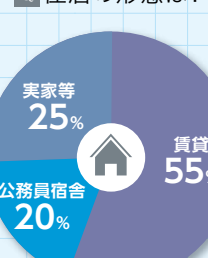
Q 情報本部の志望者へのメッセージをお願いします。

- 大(行) いろんなことにチャレンジできる職場です。チャレンジ精神豊富な方の入省をお待ちしています。
- 語 パンフレット等で得られる情報が少なく、具体的な業務のイメージが湧きにくい日々成長しようというモチベーションを与えてくれる職場です。ご自分の知的好奇心やときめく分野を大切に、健康第一で試験も乗り切ってください。

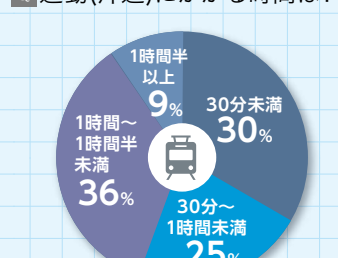
Q 出身地はどこですか？



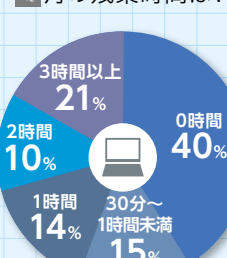
Q 住居の形態は？



Q 通勤(片道)にかかる時間は？



Q 月の残業時間は？



Work & Life Balance

ワークライフバランスを支える制度

全ての職員が働きやすい職場となるように、育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、**職員の仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を推進**しています。

休暇



年次休暇(20日/年)

※4月1日採用の場合、採用の年は15日。
残日数は20日を限度に翌年に繰越

特別休暇

年末年始(6日) / 夏季(3日)
結婚・忌引き

GW、夏季、年末年始は、取得時期をずらす等の工夫をしつつ、10日以上休暇が取れるように取り組んでいます！

出産

に関する休暇



- 産前・産後休暇
- 配偶者の出産特別休暇
- 育児参加のための特別休暇
- 妊産婦の保健指導・健康診断のための特別休暇
- 休息・補食のための特別休暇
- 通勤緩和のための特別休暇
- 出生サポート(不妊治療に係る通院等)のための特別休暇

その他の制度



- 介護休暇
- 配偶者同行休業
- フレックスタイム制
- テレワーク育児時間
- 育児短時間勤務
- 早出遅出勤務
- 超過勤務の制限等

育児

に関する休暇



- 育児休業
- 保育時間確保のための特別休暇
- 子の看護のための特別休暇

上記は一例です。
制度の概要等、詳しくはコチラをチェック



「女性職員活躍とワークライフバランスの推進」
<https://www.mod.go.jp/j/profile/worklife/index.html>

WLBについての職員の声

仕事もプライベートも両立できる職場環境

語学系/平成14年入省/女性



子育て中の私は、フレックスタイム制を活用し、夫と交代で、小学生の子供と朝食を共にしてから出勤しています。夕方以降も勤務がある場合は、その分、子供の用事がある日の勤務時間を短くしています。WLBへの理解に優れた職場環境で、やりがいのある仕事と子育ての両立に前向きに取り組むことが可能です。

WLBが充実した職場

技術系(高卒)/平成26年入省/男性



私は、第2子出生に伴い1か月間育児休業を取得しました。制度の利用については、職場からの後押しもあり取得しやすい環境でした。制度を利用したことで育児に参加する時間が増え、妻のサポートや子供の成長も日々感じられました。現在は、フレックスを活用した早期退庁勤務で家庭と仕事の両立を行っています。



採用担当がお答えします！

防衛省専門職員採用試験

Q どれくらいの語学力が必要とされますか。

A 専門職員には、語学力を駆使し、各言語で発信される様々な情報を収集し、日本語でまとめる能力や、各国のカウンターパートとの交流における渉外・通訳業務を行う能力が求められていくことになります。採用試験に合格するだけの語学力があれば、入省後の語学研修や業務経験を通じ、語学力を向上させていくことができます。

Q 採用言語以外の言語を活用することはできますか。

A 情報本部では、例えば、試験区分「英語」で採用されても、その他の言語の語学力も生かして活躍している職員が少なからずいるなど、語学力を発揮できる舞台が広がっています。情報本部であなただの語学力をいかに活用してください。

Q 分析業務を専門的に行うことができますか。

A 情報本部で行う業務において、分析業務は柱となる業務ですが、そのほかにも、渉外、調整、企画、行政等に関する業務があり、専門職員もこれらの業務を経験することがあります。また、省内の他機関、他省庁等においても、同様の業務を経験することがあります。こうした多様な経験を積むことで、カスタマー目線を養い、俯瞰的視野を持つ情報のプロフェッショナルとなることが期待されています。

Q 学歴、新卒・既卒、年齢等は採用の選考基準となりますか。

A 情報本部で採用された専門職員の経歴は、専攻、学歴、職歴の何においても多種多様であり、20代後半で採用されている人も少なからずいるほか、理系出身者もいます。経歴や年齢に関わらず、情報本部の業務に関心を持つ方は、是非積極的に受験してください。

国家一般職試験（高卒者）

Q 採用時の勤務地はどこですか？

A 高卒者試験については、事務系・技術系ともにブロック採用となるため、受験される試験区分によります。

【事務関東甲信越】の場合は、主に市ヶ谷地区での勤務となりますが、関東甲信越地区にある通信所(大井(埼玉県)又は小舟渡(新潟県))勤務の場合もあります。

【技術関東甲信越】の場合は、採用後に従事する業務により、市ヶ谷勤務又は大井通信所勤務となります。大井通信所勤務の場合、以後は、主に全国6か所(北海道、新潟、埼玉、鳥取、福岡、鹿児島)に所在する通信所で勤務します。

Q 分析能力を身につけるための教育・研修はありますか。

A 1年目における素養教育に始まり、分析官を育成するため、段階的な教育・研修プログラムが用意されています。また、OJTとして上司先輩職員の指導を受けつつ実践的に分析能力を高めることができます。

Q 留学や在外公館勤務の要員はどのように選抜されるのですか。

A 官民の多くの組織も同様だと思いますが、業務遂行能力、勤務ぶり、語学力、将来性等を総合的に勘案して選抜しています。情報本部では、留学や在外公館以外にも、省内の他機関、他省庁、海外における勤務や研修を通じ、活躍し、視野を広げる機会があります。

Q 主な勤務地はどこですか。転勤の可能性はありますか。

A 市ヶ谷をベースに勤務し、他機関、他省庁で勤務する場合も勤務地は基本的に東京都内となります。このほか、海外で勤務する機会もありますが、国内で転居を伴う異動を求められる可能性は基本的にはありませんので、ライフプランが立てやすい環境で勤務することができます。

Q 過去の試験問題は入手できますか。

A 情報公開制度に基づき請求することができます。ただし、お手元に届くまでに2か月程度かかりますのでご注意ください。なお、論文試験問題は防衛省ホームページにおいて公表しています。

Q 技術系からの採用(大井通信所採用)者が本部(市ヶ谷)で勤務することはありますか？

A 現場(通信所)での経験を積んだのち、職域拡大のために本部(市ヶ谷)の各部で勤務することがあります。

Q 事務系職員で採用された場合、どのような仕事を行いますか？

A 主に本部(市ヶ谷)の各部において勤務し、情報本部職員の人事、給与、行政文書管理、情報公開、会計、物品の取得・管理、庶務等の業務に従事又は画像解析等業務に従事します。

国家一般職試験（大卒程度）

Q 採用者における既卒者の割合はどのくらいですか？

A 昨年度の採用実績でみると技術系職員に占める既卒者の割合は、約40%となっています。また行政系職員では約38%となっており、どちらもほぼ同じ割合となっています。なお、情報本部では人物本位の採用を行っているため、新卒・既卒等は一切関係ありません。

Q 主な配置はどこですか？また、どのように決定されますか？

A 技術系は主に本部(市ヶ谷)において、電波業務、画像解析業務、分析業務に従事することになります。また初配置は官庁訪問・採用面接を通じて、本人の希望及び適性を考慮して決定されます。行政系は、主に本部(市ヶ谷)において、人事、会計、行政文書管理、物品の管理等の管理業務に従事します。その他、どちらも内部部局や防衛装備庁など防衛省内の他機関への人事交流の機会もあります。

各試験共通

Q 採用実績を教えてください

A 最終ページに過去5年間における各試験毎の採用予定者数を掲載していますので、参考としてください。

Q 情報本部の求める人物像を教えてください。

A 採用試験概要のページに掲載しておりますのでご覧ください。また、補足とさせていただきますが、情報本部では全てに共通して、コミュニケーション能力を強みとする方を求めています。情報本部の職員は「一丸」のスローガンの下、個人ではなくチームで協力し合い業務に従事しており、面接の際も、情報本部に対する熱意に加えてコミュニケーション能力を重視しております。

Q 私生活上の制限はありますか？

A 特段私生活に対する制限はありません。私的な海外渡航についても、外務省の海外安全ホームページで渡航先に関する危険情報の有無を確認するなどした上で事前申請等の所定の手続を行うことにより、原則として認められます。なお、職務内容をみだりに漏洩する等、国や国民に損失を与えることがないよう公務員としての倫理が求められるのは一般の公務員と同様です。

Q 食事ができる場所はありますか？

A 市ヶ谷地区においては、定食、丼物、麺類等を取りそろえたフードコートがあります。昼時に販売される日替わり弁当も種類が豊富で人気です。朝7時から営業しているコーヒーストアや24時間営業のコンビニエンスストアもあるのでとても便利です。

Q 職場での服装や髪色、ネイルなどについて規定はありますか？

A 自衛官の服装が規則で厳しく定められているのに対し、事務官等の服装に関する明文化された規定はありません。ただし、防衛省職員としての規律と品位を保つように努めなければならないという点では自衛官も事務官等も同じです。

Q 技術系で行政職と研究職はどのように決定されますか？

A 官庁訪問 採用面接等において、希望をお聞きます。本人の希望・適性を考慮したうえで決定されます。

Q 情報本部ではサイバーの知識などは必要とされますか？

A 近年のサイバー・ITなどの技術の進展は著しく、情報本部においても、サイバーやIT、プログラミングなどの知識を有する人材を強く求めています。

未来のために
みなさんの力が必要です。

Q 残業や休日勤務はありますか？

A 情報本部は、我が国の安全保障に関わるあらゆる事象を分析し、カスタマーのニーズに応じた情報プロダクトをタイムリーに提供することを任務としていますので、状況によっては課業時間外であっても対応が求められる場合があります。情報業務に携わる者の宿命ではありますが、超過勤務手当や代休取得に関する制度が設けられていますので、オンとオフをうまく切り替えてプライベートを充実させることができます。

Q 女性職員の活躍状況を教えてください。

A 情報本部で勤務する事務官等の約3割が女性で、組織の中核的な存在として幅広く活躍しています。もちろん、育児をしながら活躍している女性も大勢います。防衛省では、女性活躍に向け全国的な取り組みが進められていますのでご安心ください。※男性職員の配偶者出産・育児休暇制度も積極的に推奨しています。

Q 説明会や官庁訪問の情報について教えてください。

A 開催日程等については、防衛省の採用ホームページでお知らせしています。興味のある方は、是非アクセスしてください。

みなさんと共に働ける日を
楽しみにしています！



給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。下表は、新規卒業者で市ヶ谷地区に勤務した場合の一例です。なお、各試験区分において基準となる学歴(高卒、大卒)以降の経歴は、経験年数として換算し、初任給に反映されます。

防衛省専門職員 一般職(大卒程度)	行政職俸給表(一)	1級25号俸	264,000円
	研究職俸給表	1級25号俸	271,440円
一般職(高卒者)	行政職俸給表(一)	1級 5号俸	225,600円

各種手当

- 扶養手当 …………… 扶養親族(配偶者等)のある者に、月額6,500円等
- 住居手当 …………… 借家居住者等に、月額最高 28,000円
- 通勤手当 …………… 交通機関等利用者に、月額最高55,000円
- その他 …………… 超過勤務手当、地域に応じた各種手当等
- 期末・勤勉手当 …… 1年間に俸給などの4.6か月分
(いわゆるボーナス)

※上記の額は、2025年(令和7年)1月現在の各種規定に基づくものです。

勤務時間・休暇等

- 勤務時間 …………… 勤務時間は1日7時間45分
原則として土・日曜日及び祝日等は休みで週休2日制になります。
- 休 暇 …………… 各種制度: 年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日。
残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、病気休暇、特別休暇(年末年始・夏季・結婚・出産・忌引・
子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。
- 各種制度 …………… フレックスタイム制、育児休業、配偶者同行休業等があります。

福利厚生

- 共済組合 …………… 健康保険や年金などの事業のほか、貯金、貸付、各種健診、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。
- 福利厚生施設 …… 共済組合直営の宿泊・婚礼施設や外部委託契約による民間保養施設等を割引金額にて利用できます。
- 医療施設 …………… 防衛省には独自の病院(自衛隊病院)が全国各地にある他、各職場には医療施設(医務室)が設けられており、職場内で病気等の治療を受けることができます。
- フードコート・ …… 職場にはフードコートや売店などが設けられており、食事や生活必需品を購入することができます。
売店等施設



共済組合



福利厚生施設
(グランドヒル市ヶ谷)



医療施設
(自衛隊中央病院 <世田谷区>)



フードコート

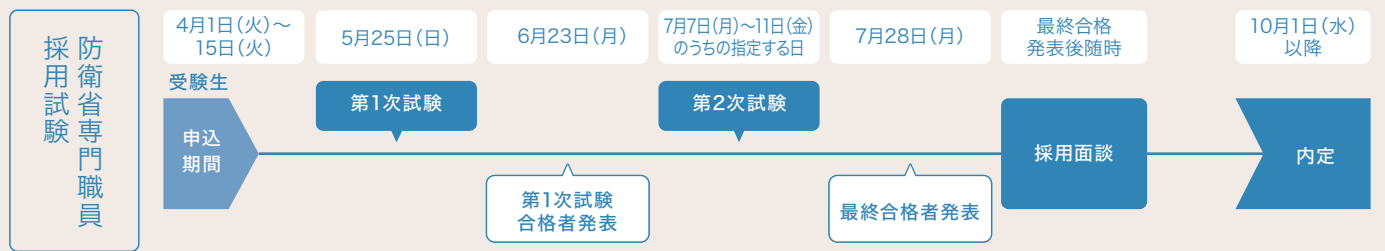
採用実績

※()内の数字は各年度における採用予定者数を示しています。

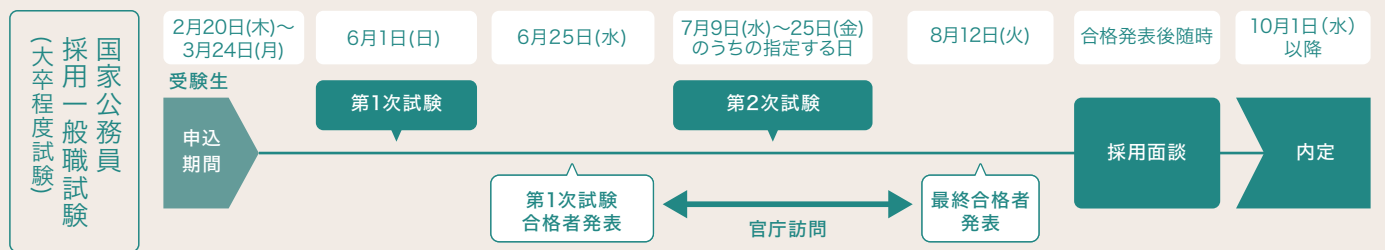
試験区分		試験年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
防衛省専門職員採用試験			英語、ロシア語、 中国語、朝鮮語	英語、ロシア語、 中国語、朝鮮語、 アラビア語	英語、ロシア語、 中国語、朝鮮語、 ベルシャ語、フランス語	英語、ロシア語、 中国語、朝鮮語、 フランス語	英語、ロシア語、 中国語、朝鮮語、 フランス語
国家公務員 採用一般職試験	大卒程度試験		電気・電子・情報(9)	行政(3) 電気・電子・情報(13) 土木(2)	デジタル・電気・電子(10) 土木(2)	デジタル・電気・電子(17) 機械(4) 行政(16)	デジタル・電気・電子(15) 機械(5) 行政(12)
	高卒者試験		事務(2)、技術(16)	事務(17)、技術(19)	事務(11)、技術(13)	事務(28)、技術(24)	事務(10)、技術(9) 社会人経験者(5)
国家公務員 採用総合職試験		大卒程度試験			工学(1)		

※防衛省専門職員採用試験においては、毎年度、各言語より若干名の採用となっています。

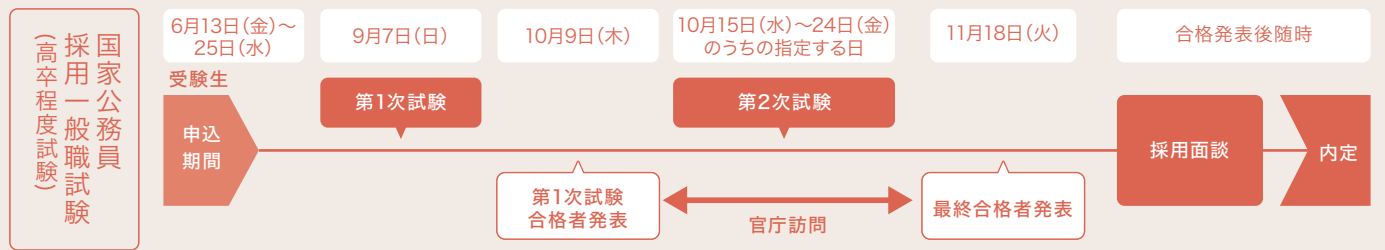
採用試験スケジュール



※2025年度の採用面接は、最終合格発表日の翌々日より実施
※防衛省専門職員採用試験の詳細な日程等については、必ず防衛省ホームページ(採用情報)で最新の情報をご確認ください。



※詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。



※詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

採用試験の詳細情報及び受験案内等請求先

- 防衛省専門職員採用試験
防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。
- 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験・高卒者試験)
人事院のウェブサイト「国家公務員試験採用情報 NAVI」又は防衛省のウェブサイトの「採用情報」から確認してください。

